



宗次ホールコンサートシリーズ  
世界のカルテット

カルテットの世界 SQ.55《特別編》

## 日本出身の団体として唯一ドイツを拠点に25年間活動 音楽への献身と強靱な4人の連帯が生み出す魂の音楽

ベートーヴェンが生涯最後に残したメッセージ、それは、世界中の人々への呼びかけのような「第九」ではなく、むしろ全く正反対の性格を持つ、極めて個人的に、親密な人にだけ心の中を打ち明けるかのような6曲の弦楽四重奏曲だった。これに、特に深く影響を受けたメンデルスゾーン作品を含む7曲を、2日間で一気に演奏する、宗次ホール始まって以来のプロジェクトが実現。演奏は欧州の最前線で活躍し続けている今や世界一流となった日本出身の素晴らしいカルテット。さすがに「気軽に」とは言えませんが、圧倒的な深み、心の充足を求めるなら、この演奏会はそれを与えてくれるでしょう。



小林 幸子  
Sachiko Kobayashi  
Violin



マティアス・ノインドルフ  
Mathias Neundorf  
Violin



山崎 智子  
Tomoko Yamasaki  
Viola



齋藤 千尋  
Chihiro Saito  
Cello

# ロータス・カルテット

## Lotus String Quartet

1992年結成。1993年大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門で第3位入賞。これを機に1995年、メンバー揃ってドイツ・シュトゥットガルト音楽芸術大学に留学、ドイツの名カルテット、メロス弦楽四重奏団に師事。他にもアマデウス四重奏団やラ・サール四重奏団にも教えを受けた。

1997年、難関のロンドン国際弦楽四重奏コンクールでメニューイン特別賞を、パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクールで第3位特別賞を受賞。さらにドイツBDI音楽コンクール弦楽四重奏部門で第1位を受賞したことにより、ワーナー・テルデックと録音契約を結びCDを世界リリース。以後今日までシュトゥットガルトを拠点に極めて充実した演奏活動を展開。往年の名カルテットが保持してきた伝統を継ぐ貴重な団体として、本場ドイツにおいて安定した評価を得る成熟したカルテットである。

また2005年からはロータスと同じく、メロスやアマデウス、ラ・サールに学んだシュトゥットガルト弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者を長年務めたマティアス・ノインドルフがロータス・カルテットの第2ヴァイオリン奏者として加入することになり、大きな注目を集めた。

2008年にはベートーヴェン・ラズモフスキー・セット全曲演奏会を含む、10公演に及ぶ日本縦断ツアー、2010年にはシューマン生誕200年を祝して、札幌コンサートホールと名古屋宗次ホールからの招きにより3度目の『シューマン：弦楽四重奏曲全曲演奏会』を行う。

2012年には結成20周年記念日本ツアーを挙行。特に大阪では、国際的活動への出発点となったいずみホールにおいて、ゲストにセバスティアン・マンツ（クラリネット）を迎え、オール・ブラームス・プログラムによる結成20周年記念演奏会を開催。その模様はNHK-TV及びFMにおいて放送されたほか、同時期に記念ディスクとして発売された『ブラームス：弦楽四重奏曲 op.51-1&2』『シューベルト：弦楽五重奏曲（チェロ：ペーター・ブック）& ウェーベルン：作品集』がいずれも『レコード芸術』誌で『特選盤』に選ばれるなど各新聞・雑誌において激賞された。この他にも好評を博しているレコーディングは数多い。

ロータス・カルテットは日本発祥ながらドイツを本拠とする国際的な常設弦楽四重奏団として、すでに20年以上のキャリアを誇り、今やドイツにおける弦楽四重奏の伝統的精神を受け継ぐ稀有な存在である。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

### 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

### 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間：10:00～16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)